

アルピーヌ・ルノーA110

ALPINE RENAULT A110



注意

必ずお読みください。

- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、小さなお子様には絶対に与えないでください。
- 組立には刃物などを使用しますので、手を切らないよう十分に注意してください。
- 部品はきれいに切り取り、切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の入っていた袋などは小さなお子様には絶対に与えないでください。


ボディカラー

モンテカルロ仕様:メタリック ブルー
 ツール・ド・コルス仕様:フレンチ ブルー、屋根 赤

BODY COLOR


MONTE-CARLO VERSION:METALIC BLUE
 TOUR DE CORSE VERSION:FRENCH BLUE ROOF:RED

〈塗装とデカール〉 Decals and Painting

1. デカールについて
 組み上げてからでは、デカールがはれない事がありますので、デカールの指示があったらそのつど貼ってください。
2. 塗装について
 マークは塗装指示マークです。グレーに塗りつぶされた所が塗装面です。部品の塗装はランナーのうちか、組み立てる前にしておいたほうがよい。

※このキットに使用する塗料

- | | |
|-----------|--------------|
| ●ブルー | Blue |
| ●グレー | Grey |
| ●イエロー | Yellow |
| ●シルバー | Silver |
| ●ブラック | Black |
| ●ゴールド | Gold |
| ●グリーン | Green |
| ●ホワイト | White |
| ●ツヤ消ブラック | Flat Black |
| ●クリアーレッド | Clear Red |
| ●クリアーイエロー | Clear Yellow |
| ●クリアーオレンジ | Clear Orange |

1. Decals Place decals one by one in the correct positions at the stages indicated.
2. Painting  denotes painting required. Painting should, if possible, be made before assembly. Paint colours required. coloured sections should be painted. Preferably paint parts before assembly. Colours required:

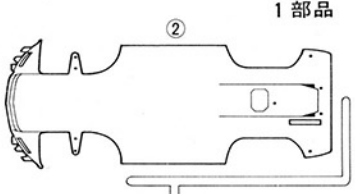
CR-01

株式会社ウェーブ
 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-8-10-302 〒180 TEL:0422-20-7223

WAVE

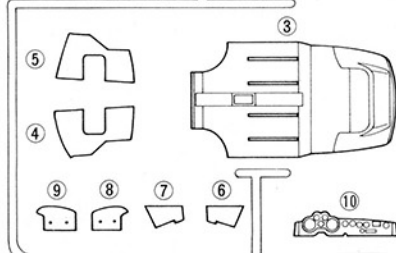
部品図 Parts List

1 部品



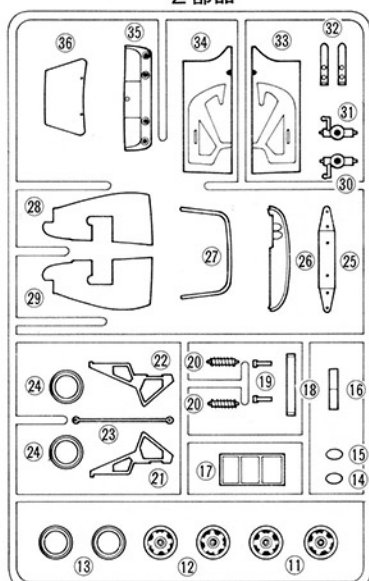
2

3 部品



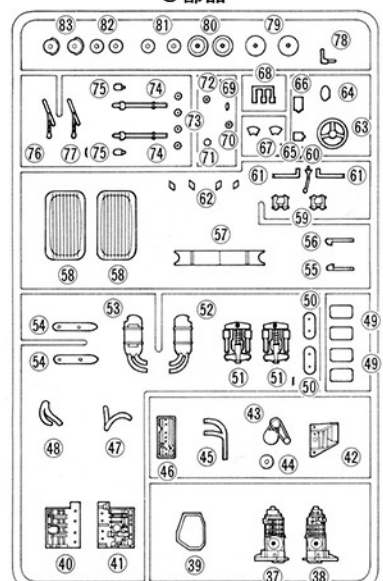
3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10

2 部品



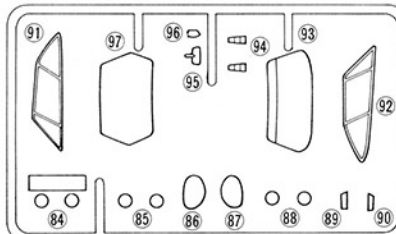
11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36

3 部品



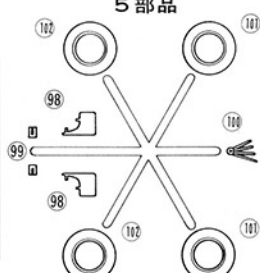
37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83

4 部品



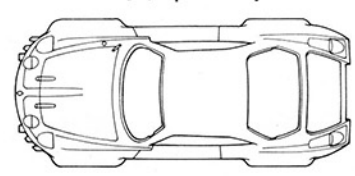
91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99

5 部品



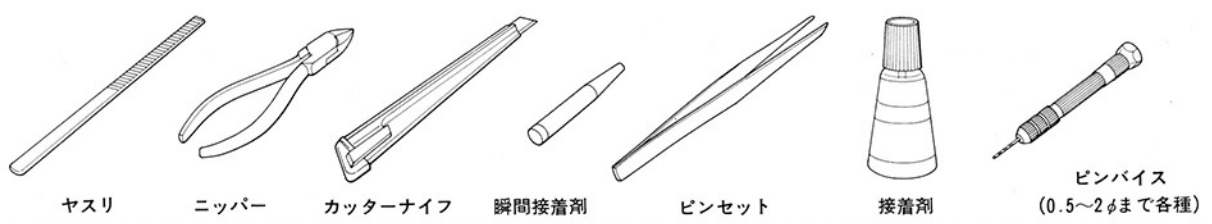
101, 102, 103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 110, 111, 112

ボディ Body



- デカールセット (3枚)
- エッチング (1枚)

《工作にあたっては次の工具を用意して下さい》



1:24th. SCALE CONSTRUCTION KIT

ALPINE RENAULT A110

1/24 アルピーヌ・ルノー A110

For Japanese use only !

CR-01

部品請求カード

●部品を紛失したり、破損なされた方で新たにパーツをご希望の方は、このカードに必要な部品のパーツ番号を記入し、パーツ代金(消費税込)+送料300円を現金書留または郵便小為替で当社までお申し込みください。

[パーツ番号、価格]

- 1、2、3、4 部品 各412円
- 5 部品 515円
- ボディ 618円
- エッチング 618円
- デカールセット 1,236円
(消費税込の価格です)

ウェブ・サービス係

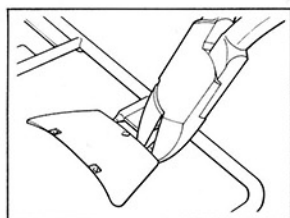
〒180 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-8-10-302 TEL:0422-20-7223

請求部品の パーツ番号	
氏名	
住所	<input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>
電話番号	()

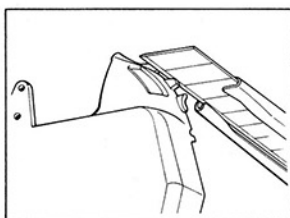
組み立ての注意

Attention

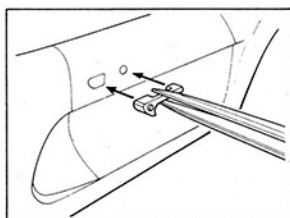
- ★組立てる前に一度説明書をよくお読み下さい。
- ★部品は一度に全部ははずさないで必要なものから切りとるようにして下さい。
- ★Read this manual through carefully before assembly.
- ★Separate the parts one by one. Don't separate all at once.



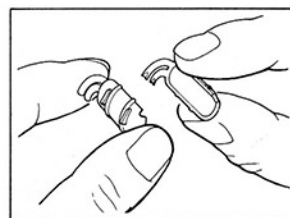
- ★部品はカッターやニッパーで
ていねいに切りとること。
- ★Separate the parts carefully
by the use of a catter or
scissors



- ★はみ出した所はていねいに
けずりとること。
- ★Remove flattng properly.

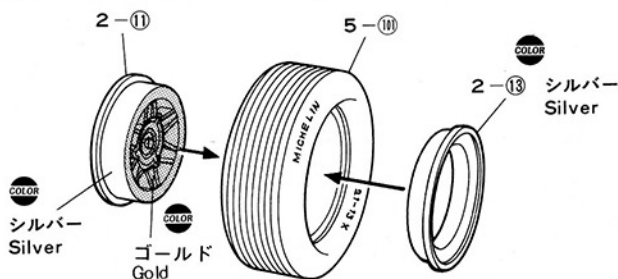


- ★小さな部品は、ピンセットを
使うとよい。
- ★Use tweezers in handing
Smaller parts and also
in Wiring

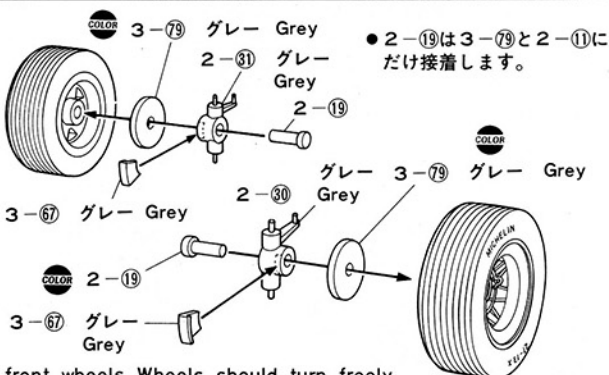


- ★接着前に必ず組みを
行います。
- ★Start to assemble onc
before you cement it.

1 フロントホイールのくみだて Assembly of Front Spindles

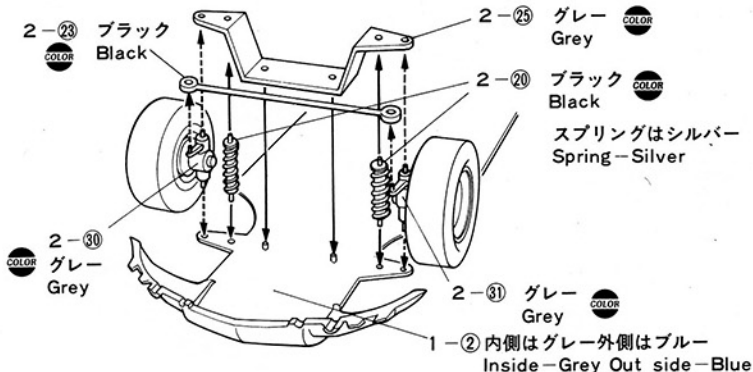


フロントホイールは2組作り回転する様になります。Assemble two front wheels. Wheels should turn freely.



●2-19は3-79と2-11に
だけ接着します。

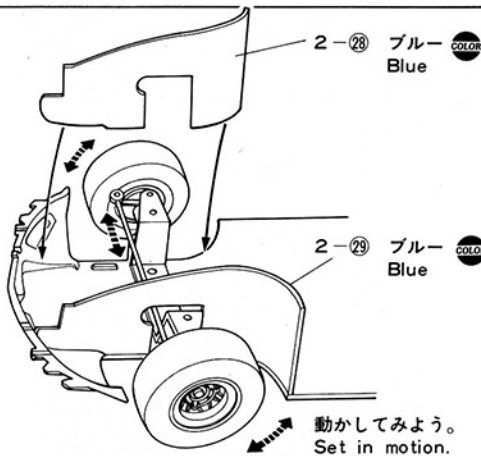
2 フロントホイールのとりつけ Fixing of Front Spindles



●2-30、31、23は可動部品です。
接着剤をつけないようにします。

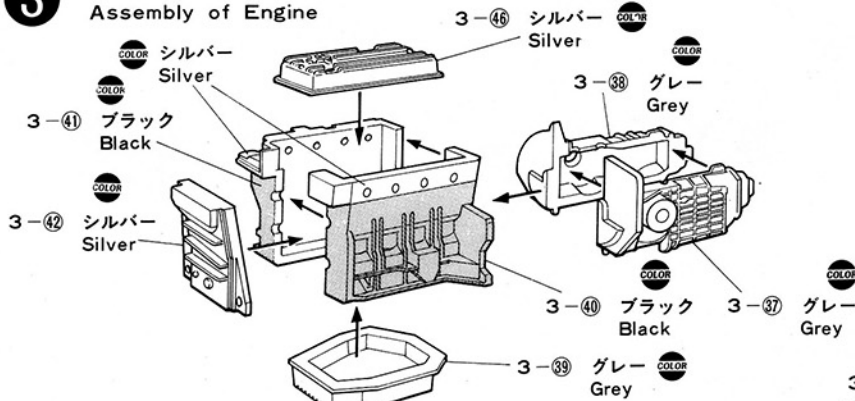
スプリングはシルバー
Spring-Silver

1-2 内側はグレー外側はブルー
Inside-Grey Out side-Blue



動かしてみよう。
Set in motion.

3 エンジンのくみだて Assembly of Engine

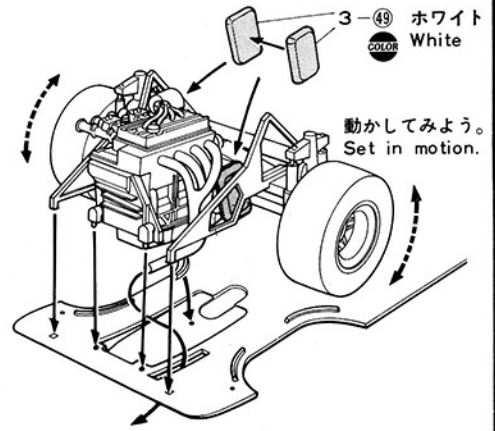
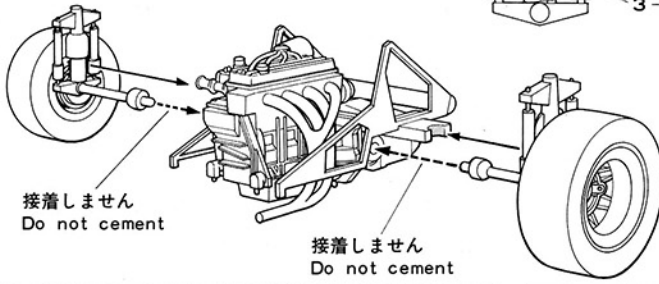


3-37は内側のバリを
ていねいに取っておきます。

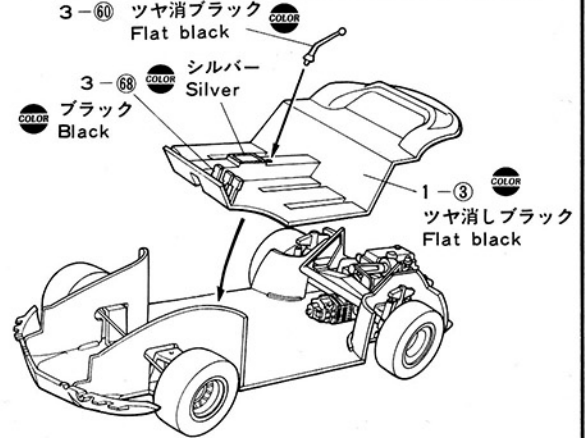
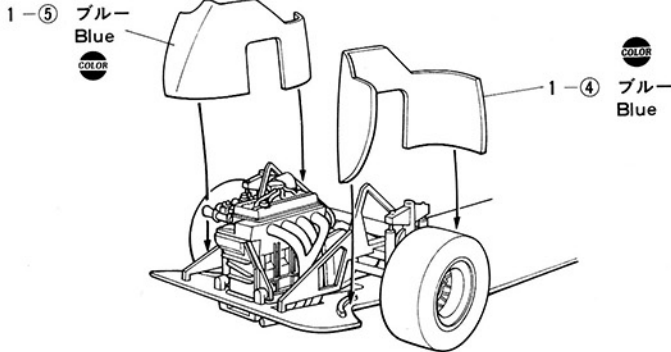
3-41、40は接着後バリを
ていねいに取っておきます。

8 リヤホイールのとりつけ Fixing of Rear Wheels

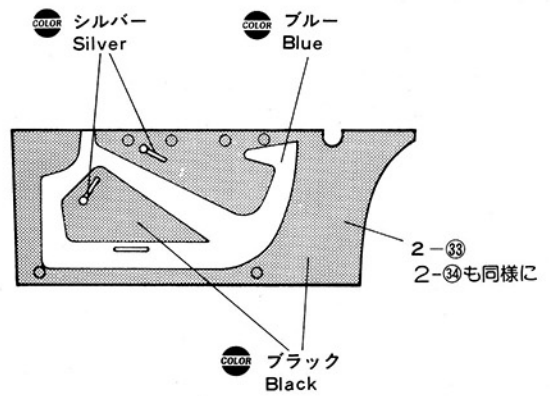
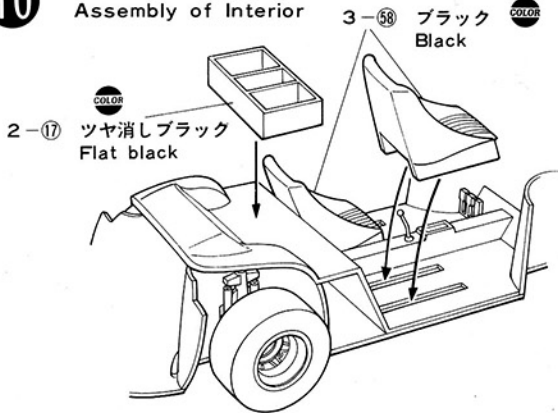
● 3-51と3-57だけを図の位置に接着します。



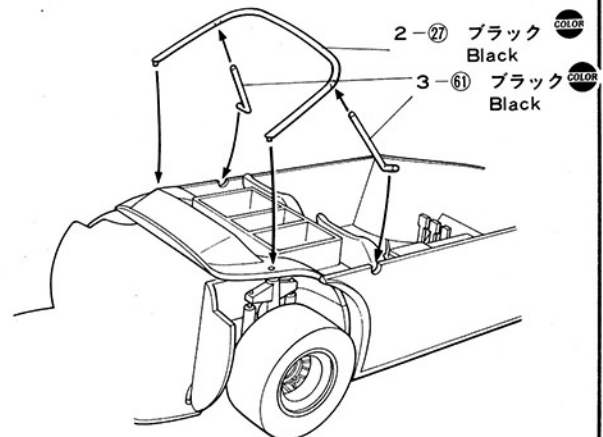
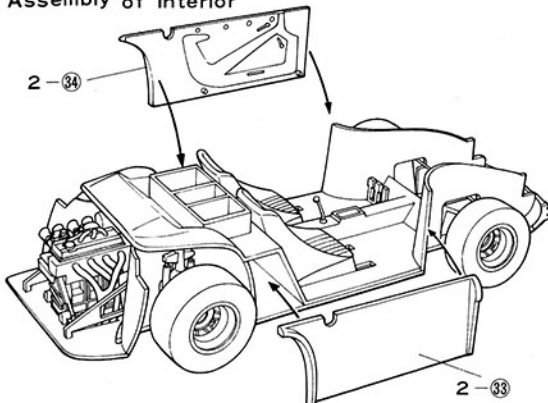
9 シャーシのくみため Assembly of Chassis



10 コックピットのくみため Assembly of Interior

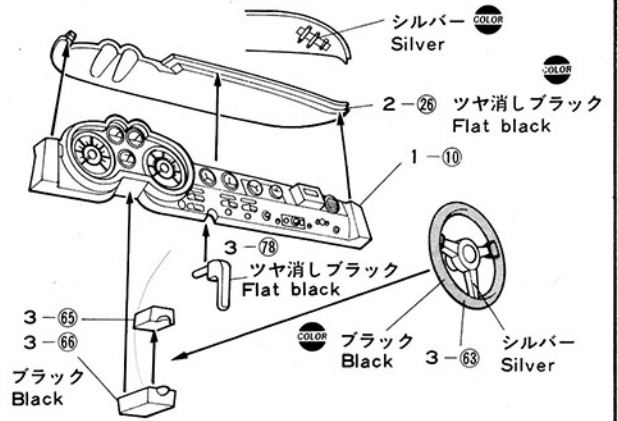
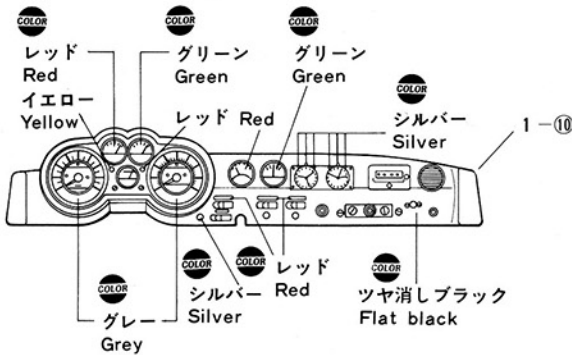


11 コックピットのくみため Assembly of Interior



12

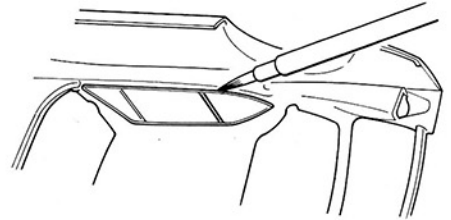
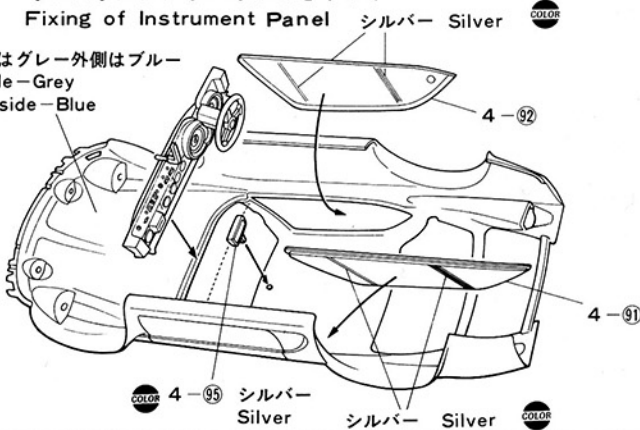
インストルメントパネルのくみたて
Assembly of Instrument Panel



13

インストルメントパネルのとりつけ
Fixing of Instrument Panel

内側はグレー 外側はブルー
Inside - Grey
Out side - Blue

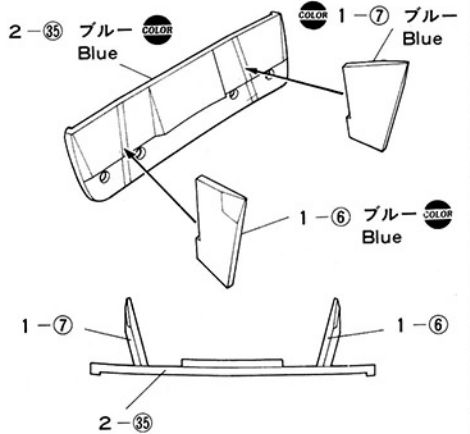
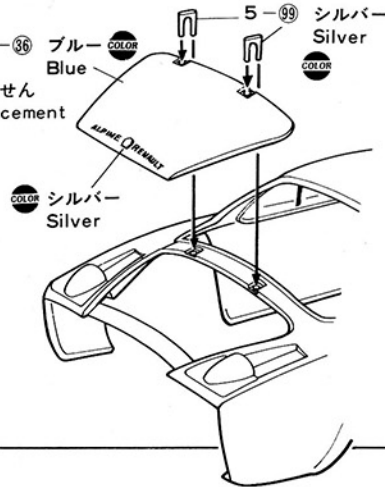
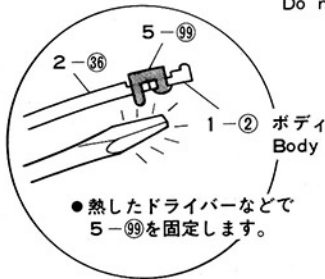


●クリアパーツ接着には、筆にラッカーシンナー（ブラシンナーは不可）を含ませ、すまみに流し込むときれいに仕上がります。

14

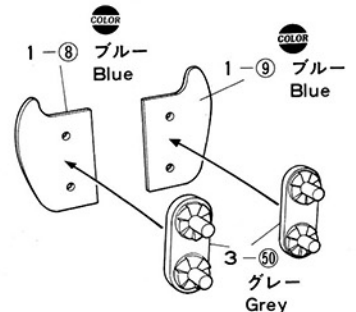
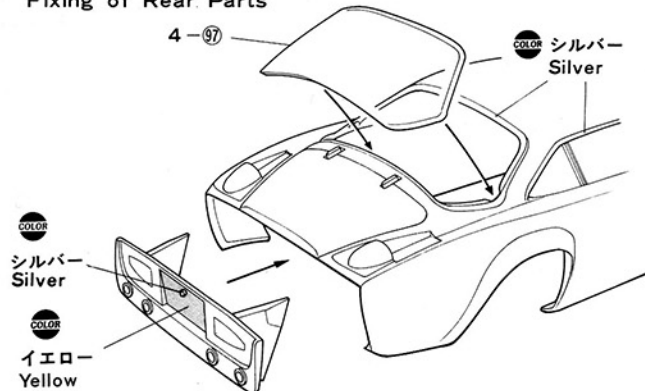
リヤ部品のくみたて
Assembly of Rear Parts

接着しません
Do not cement



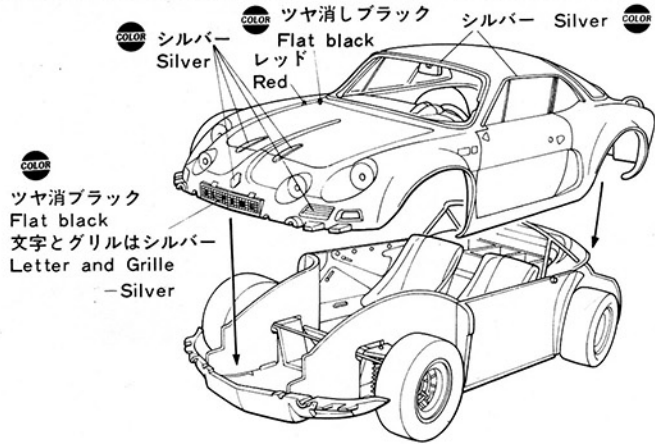
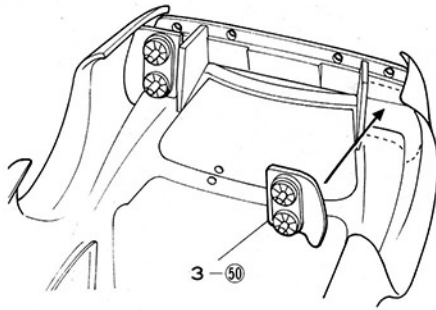
15

リヤ部品のとりつけ
Fixing of Rear Parts



16

ボディのくみたち
Assembly of Body



17

ヘッドライトのとりつけ
Fixing of Head lights

内側はシルバー-外側はブラック 3-81
In side-Silver Out side-Black

クリアー イエロー 4-85
Clear Yellow

クリアー イエロー 4-84
Clear Yellow

ブルー 4-86
Blue

ブルー 4-87
Blue

クリアーオレンジ 4-89
Clear orange

ブルー 4-93
Blue

ブルー 4-94
Blue

ブルー 4-95
Blue

ブルー 4-96
Blue

ブルー 4-97
Blue

ブルー 4-98
Blue

ブルー 4-99
Blue

ブルー 4-100
Blue

内側はシルバー-外側はブラック 3-82
In side-Silver Out Side-Black

18

フロント部品のとりつけ
Fixing of Front Parts

ツヤ消しブラック 2-16
Flat black

シルバー シルバー 2-14
Silver Silver

ツヤ消しブラック 2-32
Flat black

ブラック 3-83
Black

シルバー 4-88
Silver

シルバー 3-83
Silver

ツヤ消しブラック Flat black

3-77

3-76

シルバー 2-15
Silver

シルバー 2-32
Silver

ツヤ消しブラック Flat black

シルバー 3-56
Silver

19

リア部品のとりつけ
Fixing of Rear Parts

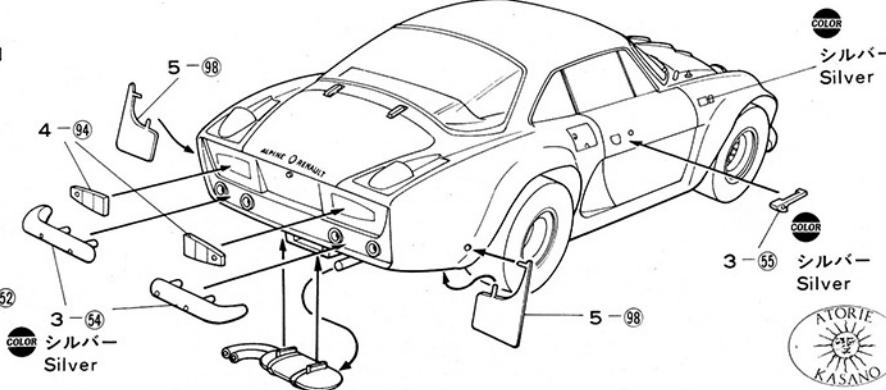


クリアーレッド 4-94
Clear red

クリアーオレンジ 4-95
Clear orange

ツヤ消しブラック 3-53
Flat black

ツヤ消しブラック 3-52
Flat black



シルバー 5-98
Silver

シルバー 3-55
Silver



ALPINE RENAULT A110 アルビーヌ・ルノーA110

1977年6月、フランスはティエップのアルビーヌ工場から最後のベルリネットA110が送り出された。50年代初頭、アルプスを愛した若きフランス人。ジャン・レデルによって生を受けたアルビーヌ。その今日における隆盛を築き上げ、70年代初頭の国際ラリーで数々の勝利を得、アルビーヌにラリー・チャンピオンの栄誉をもたらしたアルビーヌ・ルノーA110は、生産を中止された現在でも尚、数少ないフレンチブルーの純スポーツカーとして愛され続けている。

このベルリネットA110がデビューする3年前、すなわち1960年のツール・ド・フランスとツール・ド・コルスにアルビーヌは2台の新しいベルリネットを出場させている。この車こそ後のA110のボディ・スタイルを確立し、翌61年市販されたベルリネット“ツール・ド・フランス”A108となったモデルである。1962年ルノーがドーフィンに代るR8を登場させたのを機に、アルビーヌ・ベルリネットもドーフィン/4CVからよりポテンシャルの高いR8ベースへと進歩する。ここにアルビーヌの名を一躍高めたベルリネットA110(R8の型式ナンバー、R1100を示す)が誕生する。ボディこそベルリネットA108と変わらぬものの、リア・サスペンションには大きな変更を受け、リアエンジン・スポーツカーの操縦性に新たな標準をもたらしたとまで言われた。A110のシャシーは、A106以来基本的に変わらず、スチール・チューブの太いバックボーンを主体としたプラットフォームで、軽く空力的なFRP製2座クーペ・ボディを持つ。サスペンションは、前ダブル・ウィッシュボーン、コイル、後ろセミトレーリング・アーム、コイル、ダブル・ダンパーによるスウィング・アクスル(A108まではコイルとトラニオンによるスウィング・アクスルであった)。ブレーキはサーボを持たない4輪ディスクとなる。エンジンは初期、R8ベース956cc(65×72mm)であったが、ルノーとともにそのバリエーションは目まぐるしく変化して行く。すなわち、R8、R12、R16をベースとし、さらにそのチューンにより様々なバリエーションを持っていた。またR8ゴルディーニ用1108cc(70×72mm)95HPエンジンが搭載されて以後、アルビーヌ・エンジンは全てゴルディーニ・チューンとなり、OHVのままながらクロスフロー・ヘッドを与えられている。

ベルリネットA110の基礎とも言えるベルリネットA108が“ツール・ド・フランス”“ツール・ド・コルス”から生産を受けたように、ベルリネットA110は生まれながらにしてラリーカーとしての資質を持っていた。60年代末、アルビーヌ・ワークスとして“クープ・テ・ザルプ”や“ツール・ド・コルス”といったラリー・フィールドを駆け巡ったA110・1300Sは、正にその絶対的コンパクトさと優秀なパワーウエイトレシオによりワークスの中心的役割を果たしていた。エンジンはR8ベース1296cc(75.7×72mm)、OHVながらダブルロッカーシャフトによる半球形燃焼室のクロスフロー・ヘッドを備え、2基のウェバー40DCOEキャブレターと12.0の高圧縮比により、120HP/7200rpmのパワーと12.4mk/g/4500rpmのトルクを絞り出す。車重は625kgに過ぎないため5段ギアボックスを介しての動力性能は、0-1km加速28秒、最高速215km/hを誇った。アルビーヌ・ルノーA110は、数々のラリー・フィールドを通じて次第に完成されていった。その活躍によってルノー公団の全面的バックアップを取りつけたアルビーヌは、70年ツール・ド・フランスから1600Sを登場させた。R16TS用1565cc(77×84mm)85HPエンジンは、ゴルディーニによってチューンされ、2基のウェバー45DCOEキャブレターと10.2の圧縮比により138HP/6000rpmの出力と14.7mk/g/5000rpmのトルクを引き出し、635kgのボディをOD5速を介し最高215km/hまで引っ張る。勿論これは市販ベースであり、実戦に投入されたグループ4・1600Sは同じR16TSユニットからさらに高い155HPの出力を得ていた。A110・1600Sはデビュー戦のツール・ド・フランスを勝利で飾り、イタリア、アクロポリスにも勝利を得た。しかしチャンピオンシップ・ポイントではポルシェに一步及ばず2位に甘んじている。翌71年、シリーズ第1戦モンテカルロ・ラリーにアルビーヌは6台ものA110・1600Sを投入、モンテ初優勝を狙った。一方、モンテ4連覇をめざすポルシェは昨年までの911に代え914/6を導入したものの、高度にチューンされ160-165HPの出力を誇るR16TSエンジンを積む小型・軽量のA110の敵とはなり得ず、アルビーヌが悲願のモンテ初制覇を果たした。以後アルビーヌA110は、地中海、オーストリア、アクロポリスと主要ラリーを次々と勝ち取り、71年ワールド・ラリー・チャンピオンシップ(メイクス)の米冠をも手中に収めた。しかし、翌72年モンテでは、最終ステージ半ばまで上位を独占、2年連続優勝を目前にしながら全滅し、ランチア・フルヴィアHFに勝ちを譲っている。

そして、1973年モンテカルロ・ラリーにアルビーヌ・ワークスの雪辱を期すべく5台のA110・1.8iバージョンを出場させた。これはすでに1年前から開発し、テストを重ねてきたもので、R16TSエンジンはボア・アップされ1796cc(82.5×84mm)の排気量を持つ。10.2の圧縮比と2基のウェバー45DCOEキャブレターによる出力は165-170HP/7000rpm、73年シーズン最終には180HPにまで高められた。果たして73年モンテは、アルビーヌ・ルノーA110の圧勝(1-3位、5-6位)で幕を閉じた。フランスの威光を一身に背負った感のあるアルビーヌはさらに、TAP、モロッコ、アクロポリス、オーストリア・アルペンを制し、シーズン終盤を待たずしてメイクス・チャンピオンシップを決めてしまった。そして、地中海に浮かぶフランス領コルシカ島で行なわれたシリーズ最終戦、ツール・ド・コルスでは、トリコロール・ラリーに色どられた3台のアルビーヌが高らかに凱旋の歌声をあげ、73年シーズンを終えている。



ボディカラーの塗装 ＜モンテカルロ仕様＞

- ①下地にライトグレーを塗装します
- ②つぎにブルーにシルバーを10%入れ塗装します

注：●下地の塗装しだいで仕上がりが左右されます。下地はていねいに塗装しましょう。
●塗装はよく乾かしてから上塗りをしましょう。
●メッキ部品はクリアーを塗っておくとはがれにくくなります。



Notice de montage pour l'ALPINE A110 au 1/24



**Décoration possible avec cette boîte :
Version "TOUR de CORSE 1973" (3 équipages possibles).**

Pour monter et décorer votre ALPINE A110 vous aurez besoin des quelques outils suivants :

Une lime à poncer fine (de marque Squadron référence 30503), une pince à dégraper les pièces (de marque Squadron référence 10201), un cutter, une pince fine, de la colle pour maquette plastique (TESTOR avec applicateur à aiguille et avec déboucheur), une petite pointe fine. Pour le montage nous vous conseillons de vous référer aux dessins de la notice originale tout en lisant les explications ci-dessous dans l'ordre des numéros.

ATTENTION : Lire cette notice et examiner tous les dessins jusqu'au bout de la notice originale avant de commencer votre montage. Ne séparer (dégraper) les pièces que une par une au fur et à mesure des besoins. Ne pas dégraper toutes les pièces à l'avance.

Séparer les pièces soigneusement avec votre pince à dégrapper, enlever les excédents de plastique avec votre couteau puis avec votre lime. Utilisez votre fine précelle pour positionner les petites pièces. Essayer toujours l'ajustage et l'assemblage des pièces avant de les coller.

Il est parfois préférable de peindre les pièces avant de les assembler. Dans ce cas attendre le séchage complet des pièces avant de commencer l'assemblage.

ATTENTION : Pour la pose des décalcomanies et les teintés de la version incluse dans cette boîte (TOUR DE CORSE 1973) ne pas suivre la notice originale avec les dessins mais cette notice en français qui correspond aux décals de la version incluse dans la boîte.

Les photos de la notice originale ne correspondent pas à la version incluse dans la boîte.

Un lexique des teintés utilisés vous est proposé à la fin de cette notice. Merci de vous y rendre pour connaître la traduction française des teintés nécessaires.



: Ce logo dans la notice indique que ces pièces sont à peindre. Vous pouvez suivre les teintés de la notice originales sauf quand les teintés des pièces vous sont donnés sur cette feuille.

ETAPE N°1 : Assemblage des roues.

Peindre les jantes et enjoliveurs en **argent et rouge** puis une fois secs, assembler avec les pneus conformément à l'étape N°1 de la notice originale.

ETAPE N°2 : Fixation et assemblages des suspensions. Suivre les croquis. Vous aurez besoin des teintés grise, noire, et bleue.

ETAPE N°3 : Assemblage du corps du moteur.

Avant assemblage, limer les pièces si nécessaire pour un parfait ajustage puis peindre les parties en argent et en noir suivant la notice.

ETAPE N°4 : Assemblage des pièces autour du moteur.

Peindre les petites pièces après les avoir coller sur le corps du moteur. Vous aurez besoin lors de cette étape des teintés argent et noir.

ETAPE N° 5 : Fixation des pipes d'échappements après leur mise en peinture grise.

ETAPE N° 6 : Assemblage du moteur sur son support.

ETAPE N° 7 : Assemblage des roues arrières après leurs mises en peinture.

Attention : ne pas coller les 2 pièces N°74 de la grappe 3 afin que les roues puissent tourner.

ETAPE N° 8 : Fixation des roues arrières et du moteur sur le châssis.

ETAPE N° 9 : Assemblage du châssis : vous aurez besoin des teintés bleue et noire.

ETAPE N° 10 et 11 : Assemblage de l'intérieur. Vous aurez besoin du noir mat, noir brillant, de l'argent et du bleu. Bien suivre l'ordre des croquis.

ETAPE N°12 : Assemblage et mise en peinture du tableau de bord. Après avoir laisser sécher la teinte adéquate dans les différents cadrans du tableau de bord (rouge, noir, vert, jaune, gris ou argent) vous pouvez appliquer au pinceau une goutte de vernis brillant **LIFECOLOR** pour donner l'illusion de la vitre du cadran.

ETAPE N°13 : Fixation du tableau de bord et des vitres.

Avant de coller les vitres et le tableau de bord peindre l'intérieur de la carrosserie en gris et **l'extérieur en bleu (H 29), le toit en rouge (LC 56), les montants des portes et des pare brises en blanc (LC 51).**

Afin de ne pas détériorer les vitres avec de la colle (blanchiment) nous vous conseillons l'utilisation d'une colle spéciale "parties vitrées" appelée "**MICRO KRYSTAL CLEAR**" de chez **MICROSCALE**. Cette colle est à appliquer légèrement avec un fin pinceau que vous rincerez à l'eau après usage.

ETAPE N° 14 : Assemblage de la partie arrière de la carrosserie.

Il est conseillé de ne pas coller les pièces N° 99 de la grappe 5 pour vous permettre de laisser ouvert le coffre arrière. Ceci permettra de voir le moteur une fois la maquette terminée.

ETAPE N° 15 : Fixation des parties arrières de la carrosserie. Utilisez le Micro Krystal Clear pour coller la vitre arrière. Vous aurez besoin des teintes argent, jaune, gris et bleu lors de cette étape.

ETAPE N° 16 : Assemblage de la carrosserie sur le châssis.

Vous aurez pris soin de peindre la carrosserie plusieurs heures avant et vous vous serez assuré du séchage complet de celle-ci.

ETAPE N°17 : Fixation des phares et du pare brise. Le pare brise et les phares sont à coller soigneusement avec du Micro Krystal Clear. Certaines pièces des phares sont à peindre comme suit : "Inside Silver / outside black" = à l'intérieur de la pièce peindre en argent à l'extérieur peindre en noir :

ATTENTION POUR UNE PARTIE SEULEMENT DE LA SURFACE DU PHARE : REGARDEZ BIEN LE CROQUIS.

ETAPE N° 18 : Fixation des pièces avant.

Vous pouvez utiliser votre précelle pour positionner ces petites pièces après les avoir peintes.

ETAPE N° 19 : Fixation des parties arrières (pot d'échappement, pare chocs, bavettes, phares).

Peindre suivant les indications de la notice et coller soigneusement sans trop mettre de colle sur les petites pièces.

LEXIQUE ANGLAIS / FRANCAIS. Teintes nécessaires pour la version TOUR de CORSE 1973.					
Blue	Bleu	Teinte LIFECOLOR H 29	Green	Vert	Teinte LIFECOLOR LC 62
Grey	Gris	Teinte LIFECOLOR LC 68	White	Blanc	Teinte LIFECOLOR LC 51
Yellow	Jaune	Teinte LIFECOLOR LC 53	Flat Black	Noir mat	Teinte LIFECOLOR LC 02
Silver	Argent/Acier	Teinte LIFECOLOR LC 24	Black	Noir	Teinte LIFECOLOR LC 51
Red	Rouge	Teinte LIFECOLOR LC 56			

MHD commercialisera d'autres décalcomanies et des transkits pour réaliser d'autres versions Rally de la Berlinette en éditions limitées. Nous pourrions vous envoyer la liste de ces pièces contre une enveloppe timbrée avec vos noms et adresse.

Les premiers prévus sont :

Vainqueur Tour de Corse 1972 JC. Andruet / Biche (spoiler avant et becquet en résine, décals)

Réf MHD 84501

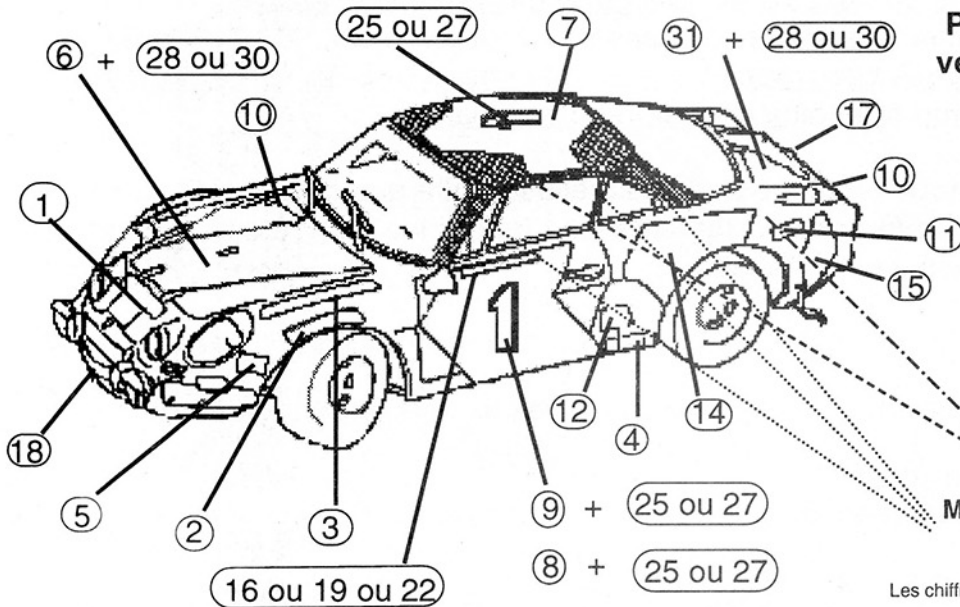
Vainqueur Rally Monte Carlo 1973 JC. Andruet / Biche

Réf MHD 84502

Tour de Corse 1972 Manzagol / Alessandri (décals, jantes en résine, voiture rouge)

Réf MHD 84503

Demandez le nuancier imprimé des 240 teintes de la gamme de peintures acryliques LIFECOLOR contre 6F à : MHD BP 37 59581 MARLY cedex.



Pose des décalcomanies pour la version "TOUR DE CORSE 1973", incluse dans la boîte.

Immatriculations (17) et (18):

Voiture N°1 : (16) 9027 HN76

Voiture N° 5 : (19) 6886 HM76

Voiture N°7 : (22) 9026 HN76

Carrosserie bleue H 29,
Toit rouge LC 56,
Montants des portes et des pare brises
avant et arrière en blanc LC 51.

Les chiffres entourés correspondent aux numéros de décalcomanies.

AUTRES MODÈLES DISPONIBLES CHEZ WAVE et HASEGAWA au 1/24



HR 4 HONDA RA E272 1/24
G.P. MEXICO 1965



CR 110 Lancer Evolution III 1/24
Rallye de Malaisie 1996



CR 108 SUBARU IMPREZA 1/24
Rallye de Monte Carlo



CR 20 Lancer Evolution III 1/24
Rallye de Suède 1996

R-8 GORDINI



wave
Rallye
MONTE
CARLO 1969



1/24

1969 : C'est avec 20 minutes d'avance sur le suivant immédiat que Jean Luc Thériet et Marcel Callewaert viennent de remporter le rallye de Monte Carlo en groupe 1, sur une R 8 - Gordini de 1255 cm3 de cylindrée.



Nouveauté 1996/1997